

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



TungCut CBNインサート「STH形」発売

新発想の仕上げ加工用CBNインサート開発 高能率加工と優れた加工面粗さを両立！ 焼入れ鋼の倍速切削！優れた加工面実現！

新発想の新製品 CBNインサート 「STH形」開発

タンガロイ(福島県いわき市好間工業団地11-1、社長：木下 聡氏)は、焼入れ鋼の仕上げ加工用に、新発想の「TungCut」(タング・カット)CBNインサート「STH形」を開発し、2022年2月7日全国で発売を開始した。

焼入れ鋼の旋削加工 課題解消に新提案

焼入れ鋼の外径仕上げ旋削加工においては、通常ISO形状のCBNインサートが使用されている。ISO形状のインサートは、コーナRが大きくてもR=2.4mmで、非常に高い面粗さが求められる場合、送りが上げられず加工時間の短縮が困難となっていた。

また、シャフトで凹形状などがある



www.tungaloy.com

底部分の仕上加工においては、干渉を避けるために左右2本の工具が必要となっていた。

新開発の「TungCut」CBNインサート「STH形」は、これらの課題をまったく新しい発想で解消することができる。

新発想の「TungCut」 CBNインサート「STH形」

「TungCut」CBNインサート「STH形」は、基本形状は従来の「TungCut」用溝入れ用インサートを踏襲しているが、「STH形」は横送りすることで仕上げ加工を行うことができる。

また、切れ刃の正面側に曲率半径の

大きなワイパー切れ刃を備えており、0.1mm程度の切込みと、最大1.5mm/revの超高送り条件で使用することで非常に優れた加工面粗さを得ることができる。

立壁の仕上げにも 優れた威力を発揮

さらに「STH形」は、切れ刃の側面に施されたワイパー切れ刃により、立壁の仕上げ加工でも威力を発揮する。しかも、ろう付け面積を広くできる「WavyJoint」(ウェイビー・ジョイント)形状を採用したことで、高送り加工でも切削熱によるろう材の軟化を防ぐことができる。

TungCutインサートと 互換性を確保

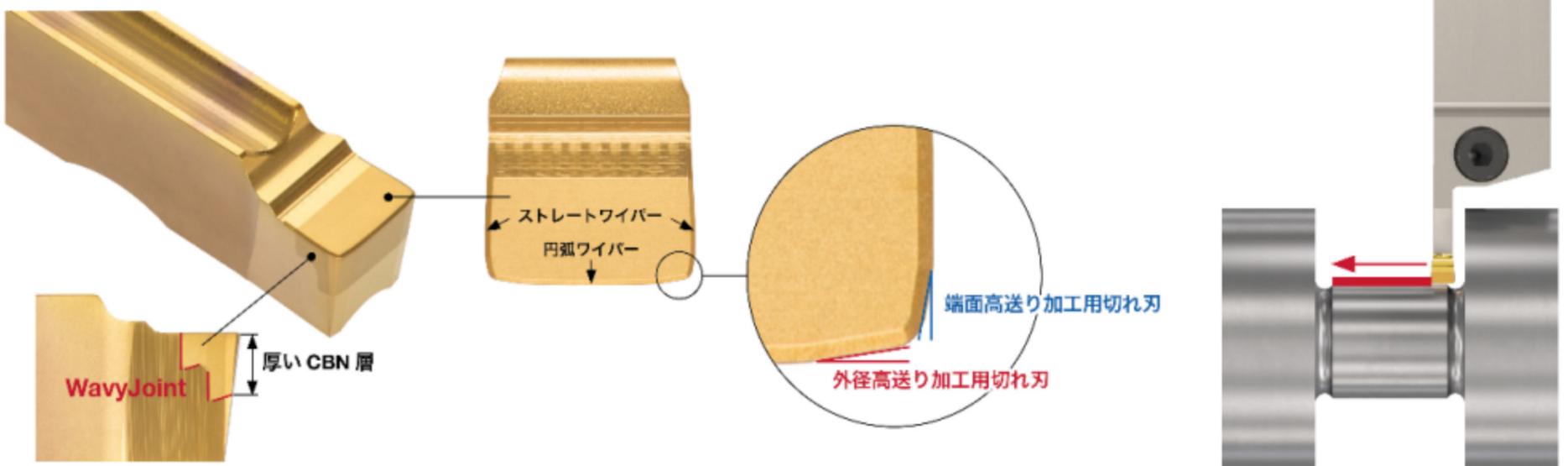
「STH形」インサートは、溝入れ加工用工具「TungCut」のインサートと互換性を持たせており、インサートシートサイズ3または5を備えるホルダに装着して使用することができる。

ホルダの選択によって、外径加工だけでなく、端面や、内径の仕上げ加工にも対応する。

新発想の「STH形」インサートは、焼入れ鋼の外径仕上げ加工の効率を劇的に改善でき、旋削加工の生産性を向上に貢献する。

- 主な形番、標準価格
- STH300-SR BXA10 12,100円(税込 13,310円)。
- STH500-SR BXA10 14,100円(税込 15,510円)。

※商品の詳細については下記WEBサイト参照。



■タンガロイURL→ <https://subs.tungaloy.com/jp/>